

# 丸協にゆーす

- 丸協トピック  
『物流ABC分析 第一弾スタート』
- 今、知っておきたい物流topics  
『物流改善には製配販（サプライチェーン）で  
取り組むのが有効』

## 丸協トピック 【物流ABC分析 第一段スタート】

中四国丸協の物流センター内で「**物流ABC分析**」の第一弾がスタート。湯浅コンサルティングの内田先生、芝田先生にご来社頂き、物流センターの作業フロー、現場での入出庫、ピッキング作業確認、担当者との問題点の洗い出しなどを行いました。各アクティビティー毎の作業時間・処理量の計測方法などのご指導を頂き、今後数日間の様々な作業数値を計測し検証、分析を進めていきます。

各アクティビティーの効率化、適正な作業人数の配置などが今以上に行えるように、また物流センターの作業だけでなく、配送運賃の分析も行っています。

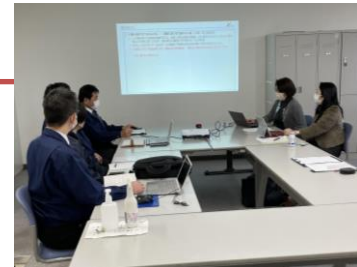
### 【物流ABCとは？】

物流ABC(Activity-Based Costing: 活動基準原価計算)の手法に則って、物流センターの作業時間の実態を「見える化」するとともに、時間削減、改善に直接結びつく分析を行います。

こんなことがわかります！

- \* 物流センター作業時間の中に、どれだけのムダ(改善余地)があるか、これをなくすにはどうするか？
- \* 各アクティビティーの適正配置人数はどのくらいか、これを計画的に維持するにはどうするか？
- \* 作業生産性の低い人と高い人でどの位の格差があるか、これを縮めていくにはどうするか？

(資料:株湯浅コンサルティング様ホームページ)



# 今、知っておきたい物流topics

## 物流改善には製配販（サプライチェーン）で取り組むのが有効

“製配販”とは、メーカー、流通業者、小売業者が連携して取り組むという意味で、物流の改善には、一社単独よりも大きな効果が生まれるため、国としても推進しています。2021度の経済産業省が表彰したSCI（サプライチェーン・イノベーション）大賞は、製配販が協力し合って返品をなくすために在庫を適正化するよう取組み、在庫を減らし、売上を増やすことができました。

「返品」について、これまでは小売店の特権のように言われていましたが、返品作業にも時間や人手がかかります。小売業もそんなムダを許容したくはないということです。

返品作業は物流センターでも大きな作業負荷がかかります。丸協では返品作業がありますか？ 作業負荷に応じた収入が得られていますか？

【製・配・販で解決すること】

売上  
機会ロス

無駄なコスト  
返品・在庫・人件費

### 課題①必要情報の早期共有

商品情報（新商品、リニューアル、廃番）の共有が遅い（発売3～4か月前）

### 課題③売上拡大×適正在庫

ボリューム陳列に頼った売場展開による過剰在庫

売上・配荷・在庫  
計画⇔実績  
ギャップ発生

### 課題②店舗別販売－配荷計画

売上が大きく異なる約1,300店  
一律の店頭展開、配荷数

### 課題④商品・店舗別在庫コントロール

全商品・全店舗などの一律の基準在庫量、  
一律の在庫管理オペレーション

本質的には返品は荷主にとって歓迎すべき作業ではなく、なくす方向が望ましいといえます。返品をなくすために必要なのは在庫の適正化です。

荷主の在庫は適正な状態に保たれていますか？ 過剰在庫はありませんか？ 心配な荷主がいたら、品目ごとに在庫量を一日当たり平均出荷量が割り、「何日分あるか」調べてみて下さい。